

2021 年度実施概要

学校名

新居浜市立垣生小学校

採択活動名

海の恵みで発展してきたふるさとを学ぶ～多喜浜塩田を未来に伝えよう～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 地域の良さを見つけよう！	6年生	総合
2. 地域・人・歴史・文化・環境を見つめ、関わり、つないでいこう	6年生	総合
3.		

取り組みの概要

本校では、海岸に近いことから、トラフグ稚魚放流体験や垣生山オリエンテーリングなど海洋教育を推進している。その他にも、地域の講師を招き垣生地域に伝わる文化遺産である史跡巡りを行ったり、ボランティアによる読み聞かせ活動で垣生の民話を学んだりして、地域の歴史や文化に親しんでいる。このように、教育活動を通して地域の人々と関わり、地域の「自然」「環境」「社会」「歴史・文化」について学んでいる。

(1) 地域の良さを見つけよう！（6年生）

講師、シニアボランティアの方々と史跡巡りに出掛け、垣生塩田跡、垣生海岸、神社等、垣生地区に関わる歴史や文化、自然について学び、地域の歴史を学び郷土愛を育んだ。

史跡について、初めて知ったことや学んだことをまとめ、全体で共有し、地域の一員として自覚を高め、地域の環境保全への意識を高めることができた。また、山をきれいにすることが目の前にある海の環境を守ることに繋がることが知り、海、山、川など自然のつながりについて学ぶことができた。

**(2) 垣生海岸からトラフグ稚魚を放流（6年生）**

地元の垣生海岸で体長約8センチのトラフグの稚魚約2,500匹を燧灘（ひうちなだ）に放流した。トラフグは新居浜の名物料理「ふぐざく」で市民に親しまれており、魚食普及を目的に放流を行っている。



子どもたちは、「トラフグの稚魚は関門海峡から東シナ海まで移動し、3年すると産卵のため瀬戸内海に戻ってくる。」と教わり、児童の海に対する興味・関心を育てることができた。